公　共

2026年度施行

見積用

橋りょう長寿命化工事実施設計委託　委託業務設計書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

芽室町

委託業務設計説明書

１．　業務名称　　橋りょう長寿命化工事実施設計委託

２．　業務概要　　橋梁補修設計１式

３．　業務場所　　桂橋

４．　業務期間　　自　令和８年１１月　９日
　　至　令和９年　２月　２日

５．　仕 様 書　　別紙参照及び北海道建設管理部測量調査設計業務等共通仕様書による。

令和８年度施行

橋りょう長寿命化工事実施設計委託

特　記　仕　様　書

北海道芽室町

橋りょう長寿命化工事実施設計委託　特記仕様書

第１章　総　則

１．適　用

本特記仕様書は、芽室町が発注する「橋りょう長寿命化工事実施設計委託」（以下「本業務」という）に適用する。

また、本業務の遂行にあたっては、本特記仕様書によるほか、「北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書（北海道建設部）」（以下「共通仕様書」という）に基づき履行すること。

２．業務の目的

本業務は、「芽室町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、優先的に補修が必要とされている、桂橋について補修に必要な設計を行うことを目的とする。

３．管理技術者の資格要件

受託者は、本業務における管理技術者を定め、委託者に通知するものとする。

管理技術者の資格については、共通仕様書「設計業務１－２」で定める技術士（建設部門）又はこれと同等の能力と経験を有する技術者あるいはＲＣＣＭの資格保有者とする。

なお、共通仕様中に記載の「これと同等の能力と経験を有する技術者」とは、次のいずれかに該当するもので、委託者が認めるものをいう。

①　一級土木施工管理技士

②　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）による大学卒業者にあっては、建設コンサルタント等業務について 13 年以上の実務経験を有する者。

③　学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校卒業者にあっては、建設コンサルタント等業務について 15 年以上の実務経験を有する者。

④　学校教育法による高等学校卒業者にあっては、建設コンサルタント等業務について 17 年以上の実務経験を有する者。

４．照査技術者の資格条件

照査技術者の資格については、共通仕様書「設計業務　１－２」で定める技術士（建設部門）又はこれと同等の能力と経験を有する技術者あるいはＲＣＣＭの資格保有者とする。

５．打合せ等

設計協議は、業務着手時と成果品納入時及び中間２回の４回を予定するものとし、業務着手時及び成果品納入時は、管理技術者が立ち会うものとする。

設計業務を適正かつ円滑に実施するため、受託者と委託者は、常に密接な連絡をとり、設計業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容について、その都度、受託者は、打合せ簿に記録し、相互に確認しなければならない。

受託者は、本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合、速やかに委託者と協議するものとする。

橋りょう長寿命化工事実施設計委託　特記仕様書

６．業務計画書

受託者は、契約後速やかに共通仕様書「設計業務１－１２」に基づき業務計画書を作成し、提出しなければならない。

７．資料等の貸与

業務に必要な関係資料については、受託者に貸与するものとする。

なお、本業務の履行に際しては、下記資料を貸与する。

① 橋梁点検調書

② 芽室町橋梁長寿命化修繕計画

③ 橋梁台帳

８．関係機関への手続き等

本業務の遂行に当たって、関係機関との協議が必要となった場合は、業務担当員と協議を行い必要な資料を作成するものとする。

９．守秘義務

受託者は、業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

取り扱う情報は、アクセス制限、パスワード管理等により適切に管理するとともに、当該業務のみに使用し、他の目的には使用しないこと。

また、委託者の許可なく複製・転送等しないこと。

１０．安全管理

本業務に当たっては、調査作業時に適切な保安施設等を設けるなど安全対策に努め、道路交通及び第三者並びに調査に従事する者に対して、適切な安全対策を行わなければならない。

１１．疑義

受託者は、作業の実施に当たり疑義が生じた場合には、業務担当員と協議を行うものとする。

第２章　業務内容

１２．業務範囲

本業務は、芽室町が管理する橋梁１橋を対象とする［別紙 位置図　参照］。

橋りょう長寿命化工事実施設計委託　特記仕様書

①　伏美線　桂橋【PC 橋プレテン床板・橋長Ｌ＝6.30m・1 径間】

１３．適用指針等

業務実施にあたっては、本仕様書のほか、下記の基準等に準拠するものとする。

①「道路橋示方書・同解説（平成 29 年 11 月）」：公益社団法人　日本道路協会
②「2022 年制定　コンクリート標準示方書［維持管理編］」：公益社団法人　土木学会
③「道路橋床版防水便覧（平成 19 年４月）」：公益社団法人　日本道路協会
④その他関係基準等

１４．業務内容

（１）橋梁補修設計

橋梁補修設計の業務内容は、下記のとおりとする。

①　損傷箇所の確認調査
橋梁点検結果を基に、近接目視で橋梁全体の損傷状況を確認し、補修設計の基礎資料とする。

②　ＰＣ桁の補修設計
応力計算を必要としない、ひび割れや遊離石灰、断面補修等の局部的な損傷箇所の補修設計を行い、工事発注の基礎資料とする。

③　施工計画
足場・支保工の設置、交通規制等の施工計画を立て、工事発注の基礎資料とする。

④　概算工事費算出
橋梁補修工事に係る概算工事費を算出する。ただし、現北海道土木積算システムと同じ体系化が可能なソフトで作成すること。

（２）橋梁補修設計業務数量及び作業項目

工　　種	単　位	対象橋梁及び工種数量	作　　業　　項　　目
		桂橋	
損傷箇所の確認調査	径　間	1	現地踏査・外観変状調査・形状寸法測定・データ整理 損傷図作成・補修箇所の抽出・報告書作成
PC 桁の補修設計	径　間	1	設計計画・設計図作成・数量作成・照査・報告書作成
施工計画	橋	1	工程計画・施工要領・施工計画図など
概算工事費算出	橋	1	概算工事費算出

橋りょう長寿命化工事実施設計委託　特記仕様書

第３章　成果品

１５．成果品の提出

本業務の成果品は、下記のとおりとする。
なお、業務担当員が必要とする資料等がある場合は、別途協議する。

①　橋梁補修調査設計図書　：２部
②　橋梁補修調査設計図書電子データ（ＣＤ又はＤＶＤ－ＲＯＭ）　：１枚

第４章　業務期間

１６．業務期間

令和８年１１月９日（月）から令和９年２月２日（火）までとする。

第５章　その他特記事項

１７．その他特記事項

①　補修工法検討に、損傷箇所の詳細調査および室内試験等が必要となる場合については、設計変更にて対応するため業務担当員と協議すること。
②　損傷箇所の確認調査の結果により、補修設計内容及び数量を変更する場合があるため業務担当員と協議すること。
③　本業務にて工法検討を行う場合は、新技術も併せて検討すること。

位　　置　　図

業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託																
施工箇所	芽室町　伏美（桂橋）																
範囲	起　点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	終　点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。　※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。

図面は上が北です

＜凡例＞
旗揚線

施工箇所
施工箇所

表示情報（表示している情報は■）
□ 業務箇所・業務範囲
□ その他

備　考

地図の出典元：国土地理院

積　算　情　報

設計書番号	26-18-H2-0186-0	設計者名	
出張所名	芽室町		
適用単価	業務		
入札日（開札日）	2026年11月 4日		
歩掛適用年月	2026年10月13日		
単価適用年月	2026年10月13日		
適用単価地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部	
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、士幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部	
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・士幌町の一部	
	港湾石材		
	燃料	K00:帯広建設管理部	
適用工種	（係数ランク　１）		

積算時想定業務期間	2026年11月 9日　～　2027年 2月 2日　(86日)
工期の設定	通常工期　実施工期：86日　完成期限：　2027年 2月 2日
冬期労務補正	2026年 6月　～　2026年12月　冬期労務補正：なし　時間的制約：時間的制約無し

2026/10/08 08:48:39

業務概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
橋りょう長寿命化事業	伏美	町道伏美線	桂橋

費　　目	測量及び試験費	橋りょう長寿命化工事実施設計委託

	No	当　　初	変　　更
業務概要	1	橋梁補修設計　1 式	
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

設計内訳書

業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託	当　初	業　種	土木設計業務
			項　目	道路調査

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路調査		式	1					
道路調査		式	1					
橋梁補修設計		式	1					
橋梁補修設計		式	1					内-1号 P1
共通		式	1					
共通（設計業務）		式	1					
打合せ等（設計(その他)）		式	1					
打合せ（設計(その他)）		業務	1					単-1号 P2
直接経費		式	1					
直接経費		式	1					
旅費交通費（設計(その他)）		式	1					
旅費交通費（設計(その他)）		式.	1					単-2号 P2

設計内訳書

業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託	当　初	業　種	土木設計業務
			項　目	直接経費

項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
電子成果品作成費		式	1					
電子成果品作成費 6.9×直接人件費（千円）^0.45		式	1					
直接原価		式	1					
その他原価		式	1					
業務原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
設計業務価格		式	1					
消費税相当額		式	1					
業務費計		式	1					

諸経費計算書

業務名

測量業務

項目	金額・率（%）
直接測量費	
非対象額	
管理費区分９（成果検定費等）	
対象額	
諸経費率	
諸経費（計算額）	
竣工平面図作成の対象額（労務費、直接人件費）	
竣工平面図作成の諸経費率	
竣工平面図作成の諸経費（計算値）	
調整額	
諸経費計上額	
調整業務計上額	
その他原価対象額（管理費区分Ａ＋Ｂ＋Ｄ）	
その他原価の割合(α)	
その他原価計上額	
直接原価	
その他原価	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合(β)	
一般管理費等計上額	

地質調査業務

一般調査業務

項目	金額・率（%）
純調査費（直接調査費及び間接調査費）	
非対象額	
管理費区分９（諸経費の非対象）	
対象額	
諸経費率	
諸経費（計算額）	
調整額	
諸経費計上額	
調整業務計上額	
その他原価対象額（管理費区分Ａ＋Ｂ＋Ｄ）	
その他原価の割合(α)	
その他原価計上額	
直接原価	
その他原価	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合(β)	
一般管理費等計上額	

諸経費計算書
（ 当 初 ）

業務名　2026年度　橋りょう長寿命化工事実施設計委託

地質調査業務
解析調査業務

項目	金額・率（%）
直接人件費	
その他原価の割合(α)	
その他原価計上額	
直接原価	
非対象額（－）	
管理費区分９・Ｉ（一般管理費等の非対象）	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合(β)	
一般管理費等（計算値）	
調整額	
一般管理費等計上額	

（直接経費　　）

設計業務　　建設コンサルタント

項目	金額・率（%）
直接人件費	
その他原価の割合(α)	
その他原価計上額	
直接原価	
非対象額（－）	
管理費区分９・Ｉ（一般管理費等の非対象）	
一般管理費対象額	
一般管理費等の割合(β)	
一般管理費等（計算値）	
調整額	
一般管理費等計上額	

（直接経費　　）

一式当たり内訳書

第1号内訳書	橋梁補修設計	単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	20261013 20261013 1.000-00000020

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
損傷箇所の確認調査		径間	1					DXD34001 管理費区分 無 単-3号
ＰＣ桁の補修設計		径間	1					DXD34011 管理費区分 無 単-4号
施工計画		橋	1					DXD34131 管理費区分 無 単-5号
概算工事費算出		橋	1					DXD34141 管理費区分 無 単-6号
合　計								

上段から 既契約数量／出来高数量／出来高累計／前回残工事／今回残工事

1次単価表

単-1号

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	打合せ（設計(その他)）	単位	業務	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
打合せ	中間打合せ回数＝2回：	業務	1			WS505501 管理費区分 無 単-7号
計						
単価						

1次単価表

単-2号

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	旅費交通費（設計(その他)）	単位	式.	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
外業に伴う交通費（通勤）	片道距離区分＝12.5km以上 30km未満：ライトバン台数＝1台：ライトバンその他経費の計上(高速道路代等）＝計上しない：業務＝土木：調査(H3・H7・H9・I1・I2)：	日	1			DXD97190 管理費区分 無 単-8号
設計（打合せ）協議に伴う交通費（ライトバン使用）	片道距離区分＝12.5km以上 30km未満：ライトバン台数＝1台：ライトバンその他経費の計上(高速道路代等）＝計上しない：離島における加算額＝計上しない：業務＝土木：調査(H3・H7・H9・I1・I2)：	往復	4			DXD97390 管理費区分 無 単-9号
計						
単価						

参考資料（1）

単-3号　　DXD34001

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	損傷箇所の確認調査	単位	径間	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師 （内業）	割増対象賃金比 0.55	人	0.7			R0402 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技師（A） （内業）	同上	人	1.2			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技師（B） （内業）	同上	人	2.3			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技師（B） （外業）	同上	人	1			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技師（C） （内業）	同上	人	1.6			R0405 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技師（C） （外業）	同上	人	1			R0405 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技術員 （内業）	同上	人	2.9			R0406 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技術員 （外業）	同上	人	1			R0406 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1

参考資料（1）

単-3号　　DXD34001

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	損傷箇所の確認調査	単位	径間	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
安全費	Z1の合計金額に23%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7XX0060 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-4号　　DXD34011

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ＰＣ桁の補修設計	単位	径間	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師	割増対象賃金比 0.55	人	0.2			R0402 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（A）	同上	人	0.7			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（B）	同上	人	1.2			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（C）	同上	人	2.2			R0405 管理費区分 無 道建設部策定単価
技術員	同上	人	2			R0406 管理費区分 無 道建設部策定単価
計						
単価						

参考資料（1）

単-5号　　DXD34131

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	施工計画	単位	橋	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師	割増対象賃金比 0.55	人	0.6			R0402 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（A）	同上	人	2.4			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（B）	同上	人	2.4			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（C）	同上	人	1.2			R0405 管理費区分 無 道建設部策定単価
技術員	同上	人	1.2			R0406 管理費区分 無 道建設部策定単価
計						
単価						

諸経費情報

委託先	建設コンサルタント		
測量業務	諸経費率	しない	
測量業務（竣工平面図）	諸経費率	しない	
地質調査業務（一般）	諸経費率	しない	
地質調査業務（解析）	その他原価の割合　（α）	しない	35%
	一般管理費等の割合（β）	しない	35%
設計業務	その他原価の割合　（α）	しない	35%
	一般管理費等の割合（β）	しない	35%

参考資料（1）

単-6号　　DXD34141

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	概算工事費算出	単位	橋	数量	1	単価	
規格							

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
技師（A）	割増対象賃金比 0.55	人	0.5			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技師（B）	同上	人	1			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技師（C）	同上	人	2			R0405 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
技術員	同上	人	2.5			R0406 管理費区分 無 道建設部策定単価 Z1
電子計算機使用料	Z1の合計金額に2%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7S70600 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料（1）

単-7号　　WS505501

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	打合せ	単位	業務	数量	1	単価	
規格	2回						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師	割増対象賃金比 0.55	人	2			R0402 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（A）	同上	人	2			R0403 管理費区分 無 道建設部策定単価
技師（B）	同上	人	2			R0404 管理費区分 無 道建設部策定単価
計						
単価						

参考資料（1）

単-8号　　DXD97190

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	外業に伴う交通費（通勤）	単位	日	数量	1	単価	
規格	12.5km以上 30km未満 1台 計上しない　土木：調査(H3・H7・H9・I1・I2)						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー　スタンド渡し　無鉛　JIS K 2202 2号	L	5.1			Z006704001 管理費区分 無 刊行物単価
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	1.9			M002022001 管理費区分 無 刊行物単価
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	同上	供用日	1			M002022001 管理費区分 無 刊行物単価
計						
単価						

参考資料（1）

単-9号　　DXD97390

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	設計（打合せ）協議に伴う交通費（ライトバン使用）	単位	往復	数量	1	単価	
規格	12.5km以上 30km未満 1台 計上しない 計上しない　土木：調査(H3・H7・H9・I1・I2)						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ライトバン運転費	片道距離区分＝12.5km以上 30km未満：ライトバン台数＝1台：ライトバンその他経費の計上(高速道路代等）＝計上しない：業務＝土木：調査(H3・H7・H9・I1・I2)：	往復	1			DXD97670 管理費区分 無 単-10号
計						
単価						

参考資料（2）

単-10号　　DXD97670

単価適用年月	20261013
歩掛適用年月	20261013
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ライトバン運転費	単位	往復	数量	1	単価	
規格	12.5km以上 30km未満 1台 計上しない　土木：調査(H3・H7・H9・I1・I2)						

名称	規格／条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ガソリン	レギュラー　スタンド渡し　無鉛　JIS K 2202 2号	L	2.4			Z006704001 管理費区分 無 刊行物単価
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	0.9			M002022001 管理費区分 無 刊行物単価
ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	同上	供用日	1			M002022001 管理費区分 無 刊行物単価
計						
単価						

登録単価＜データ無し＞

		業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託

コード	名称	規格	単位	単価	登録年度	登録月	備考

個人用損料＜データ無し＞

業務番号		業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託						
コード	名称		規格	単位	区分	単価	登録年度	登録月	備考

直接人件費一覧表

業務区分　　：道路調査
細　　別　　：橋梁補修設計

歩掛適用日：2026年10月13日　単価適用日：2026年10月13日

項目	職種	単位	数量	単価	金額
損傷箇所の確認調査	主任技師　内業	人	0.7		
	技師（A）　内業	人	1.2		
	技師（B）　内業	人	2.3		
	技師（B）　外業	人	1		
	技師（C）　内業	人	1.6		
	技師（C）　外業	人	1		
	技術員　内業	人	2.9		
	技術員　外業	人	1		
ＰＣ桁の補修設計	主任技師	人	0.2		
	技師（A）	人	0.7		
	技師（B）	人	1.2		
	技師（C）	人	2.2		
	技術員	人	2		
施工計画	主任技師	人	0.6		
	技師（A）	人	2.4		
	技師（B）	人	2.4		
	技師（C）	人	1.2		
	技術員	人	1.2		
概算工事費算出	技師（A）	人	0.5		
	技師（B）	人	1		
	技師（C）	人	2		
	技術員	人	2.5		

直接人件費一覧表

業務区分　　：道路調査
細　　別　　：橋梁補修設計

歩掛適用日：2026年10月13日　単価適用日：2026年10月13日

項目	職種		単位	数量	単価	金額
小計	主任技師	内業	人	0.7		
	技師（A）	内業	人	1.2		
	技師（B）	内業	人	2.3		
	技師（B）	外業	人	1		
	技師（C）	内業	人	1.6		
	技師（C）	外業	人	1		
	技術員	内業	人	2.9		
	技術員	外業	人	1		
	主任技師		人	0.8		
	技師（A）		人	3.6		
	技師（B）		人	4.6		
	技師（C）		人	5.4		
	技術員		人	5.7		

直接人件費一覧表

業務区分　　：共通
細　　別　　：打合せ（設計(その他)）　　歩掛適用日：2026年10月13日　単価適用日：2026年10月13日

項目	職種	単位	数量	単価	金額
打合せ	主任技師	人	2		
	技師（A）	人	2		
	技師（B）	人	2		
小計	主任技師	人	2		
	技師（A）	人	2		
	技師（B）	人	2		

直接人件費一覧表

業務区分　　：
細　　別　　：　　歩掛適用日：　　単価適用日：

項目	職種		単位	数量	単価	金額
総合計	主任技師		人	2.8		
	技師（A）		人	5.6		
	技師（B）		人	6.6		
	技師（C）		人	5.4		
	技術員		人	5.7		
	主任技師	内業	人	0.7		
	技師（A）	内業	人	1.2		
	技師（B）	内業	人	2.3		
	技師（C）	内業	人	1.6		
	技術員	内業	人	2.9		
	技師（B）	外業	人	1		
	技師（C）	外業	人	1		
	技術員	外業	人	1		
合計金額						

集計リスト（機械損料）

	業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託	当　初	項　目	土木設計業務
				集計区分	機械損料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
M002022001	ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	時間	5.498			補正有り 刊行物単価
M002022001	ライトバン［ガソリンエンジン駆動］	乗車定員５名　排気量１．５Ｌ	供用日	5			補正有り 刊行物単価

集計リスト（労務）

	業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託	当　初	項　目	土木設計業務
				集計区分	労務

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
R0402	主任技師	割増対象賃金比 0.55	人	0.7			内業 道建設部策定単価
R0403	技師（A）	割増対象賃金比 0.55	人	1.2			内業 道建設部策定単価
R0404	技師（B）	割増対象賃金比 0.55	人	2.3			内業 道建設部策定単価
R0404	技師（B）	割増対象賃金比 0.55	人	1			外業 道建設部策定単価
R0405	技師（C）	割増対象賃金比 0.55	人	1.6			内業 道建設部策定単価
R0405	技師（C）	割増対象賃金比 0.55	人	1			外業 道建設部策定単価
R0406	技術員	割増対象賃金比 0.55	人	2.9			内業 道建設部策定単価
R0406	技術員	割増対象賃金比 0.55	人	1			外業 道建設部策定単価
R0402	主任技師	割増対象賃金比 0.55	人	2.8			道建設部策定単価

集計リスト（労務）

	業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託	当　初	項　目	土木設計業務
				集計区分	労務

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
R0403	技師（A）	割増対象賃金比 0.55	人	5.6			道建設部策定単価
R0404	技師（B）	割増対象賃金比 0.55	人	6.6			道建設部策定単価
R0405	技師（C）	割増対象賃金比 0.55	人	5.4			道建設部策定単価
R0406	技術員	割増対象賃金比 0.55	人	5.7			道建設部策定単価

集計リスト（材料）

	業務名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託	当　初	項　目	土木設計業務
				集計区分	材料

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZS7XX0060	安全費		式	1			
ZS7S70600	電子計算機使用料		式	1			
Z006704001	ガソリン	レギュラー　スタンド渡し　無鉛　JIS K 2202　2号	L	14.694			刊行物単価

集計リスト（管理費区分別）

凡　例	
	管理費区分　9:全ての間接費対象外及び循　管理費区分　A:設計業務費、設計業務人件　管理費区分　B:設計業務費、旅費人件費1の　管理費区分　C:設計業務費、事務用品費の 管理費区分　D:設計業務費、設計業務人件　管理費区分　E:設計業務費の対象及び安全　管理費区分　I:一般管理費等の非対象　管理費区分　L:電子成果作成費の非対象 管理費区分　S:間接調査費中の施工管理費　管理費区分　Y：安全費の非対象　管理費区分　Z：（測量）安全費、電子成果　直接人件費

委託名	橋りょう長寿命化工事実施設計委託	当初	業　種	
			項　目	

細別名称	規格	単位	数量	管理費区分　9 管理費区分　E 管理費区分　Z	管理費区分　A 管理費区分　I 直接人件費	管理費区分　B 管理費区分　L	管理費区分　C 管理費区分　S	管理費区分　D 管理費区分　Y
橋梁補修設計		式	1					
打合せ（設計(その他)）		業務	1					

橋　梁　台　帳

調製年月日	昭和 63 年 3月 31日

橋梁現況台帳（橋長15m以上）

(1) 調査現況区分	(2) 都道府県 市区町村名	(3) 道路種別	(4) 路線名	(5)(6) 路線分割 現道・旧道区分	(7) 橋梁種別	(8) 橋梁名	(9)(10) 分割番号 一般・有料区分	(11) 橋梁分類 路面位置	上部工 構造形式	使用材料	床版材料	下部工基礎	(12) 架設年次	(13) 橋長 m	(14) 最大支間長 m	(15) 径間数	(16) 幅員 道路部 m	車道 m	歩道等 m	(17) 適用示方書類	(18)(19) 橋格 現況	(20) 他域橋長 市区町村名	都道府県	道路種別	路線名	現道・旧道区分	路線分割	橋長 m	(21) 橋梁接続 起点側 市区町村名	都道府県	橋梁種別	橋梁名	分割番号	終点側 市区町村名	都道府県	橋梁種別	橋梁名	分割番号

橋梁名	桂橋
所在地	西伏見
図面対照番号	11- 3
整理番号	200

橋梁種別				
橋				1,2,3
高架橋				4
桟道橋				5
橋梁部分 工類	路面位置		上路橋	1
			中路橋	2
			下路橋	3
			二層橋	4
	上部工 構造形式	床版橋		10
		桁橋		20
			I桁	21
			I桁（合成）	22
			H桁	23
			H桁（合成）	24
			箱桁	25
			箱桁（合成）	26
			T桁	27
		トラス橋		30
		アーチ橋		40
			アーチ	41
			ランガー	42
			ローゼ	43
		ラーメン橋		50
		斜張橋		60
			I桁	61
			箱桁	62
			トラス	63
		吊橋		70
			I桁	71
			箱桁	72
			トラス	73
	上部工 使用材料		鋼橋	1
			RC橋	2
			PC橋	3
			石橋	4
			木橋	5
			鋼とRC(PC)橋との混合橋	6
			その他	7
	上部工 床版材料		鋼系	1
			コンクリート系	2
			その他	3
	下部工基礎		直接基礎	1
			オープンケーソン	2
			ニューマチックケーソン	3
			場所打ちぐい（深礎を含む）	4
			既成鋼ぐい	5
			既成RCぐい	6
			既成PCぐい	7
			木ぐい	8

架設年次	昭和 51 年	耐荷荷重	14 t	路線番号 265
箇所	自地域内 *	市区町村界	都道府県界	
永久・非永久区分	永久橋 *	木橋	混合橋	交差名
橋長	6.30 m			
幅員構成 区分	幅員	面積		
車道	5.5 m	34.7 ㎡		
歩道等 左	m	㎡		
歩道等 右	m	㎡		
路肩	2.0 m	12.6 ㎡		
道路部	7.5 m	47.3 ㎡		
現況	自動車交通不能 1			
	通行制限あり 2			
	通行制限なし 3			*
路面区分	未舗装道			
	舗装道	セメント系		
		アスファルト系高級		*
		アスファルト系簡易		
付属物	橋築燈	■・無	本	
	防護柵	有・■		
有効高	m			

路線名	伏美線
河川	桂川
道路	
鉄道	

位置図

正面

側面

昭和 62 年 9月 14日調査

【点検結果概要】

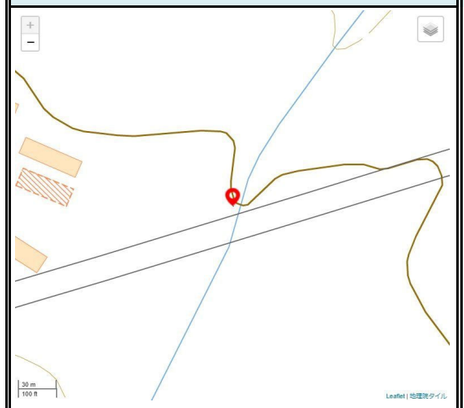
フリガナ　カツラバシ
橋梁名：桂橋

フリガナ　フシミセン
路線名：伏美線

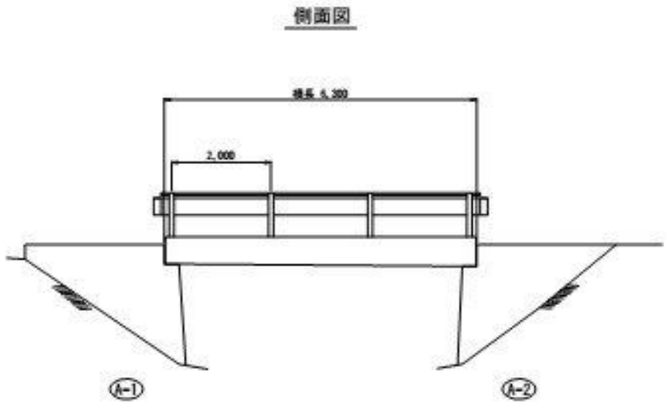
橋長：6.3　幅員：7.5　径間数：1　芽室町

架設年度	1976年	橋梁形式	411-④PC橋_プレテン床版	11-重力式橋台	0-直接基礎	路下条件	西伏見川	代替路	有	緊急輸送路	無	維持管理区分	A	占有物件	水道管	定期点検実施年月日	2024.09.13

位置図



(起点側)　全体図　(終点側)



道路橋毎の健全性の診断	公示に基づく健全性の診断の区分		
	2024年度	Ⅲ	早期措置段階
	2019年度	Ⅲ	早期措置段階

所見

【1.上部構造】主桁に剥離(PC鋼線の露出)が見られる。現時点でPC鋼線の破断により、主桁の耐荷性能が低下している可能性がある。以上より、損傷が進行し、鉄筋の断面不足に至った場合、主桁の機能低下が懸念されることから、早期に耐荷性能の回復を行うべきである。
【2.下部構造および周辺地盤】下部工に剥離(鉄筋露出)が見られる。現状、何らかの変状が生じる可能性は低い。なお、下部工の剥離(鉄筋露出)については、局所的であり前回点検から進行が認められないことから、何らかの変状が生じる可能性は低いものと判断した。
【3.上下部接続部】ゴム支承に局部的な劣化が見られる。現状、何らかの変状が生じる可能性は低い。
【4.伸縮装置】伸縮装置に漏水が見られる。鋼部材の腐食およびコンクリートの凍害を助長することから、構造安全性の確保のための措置を行う必要がある。
【5.その他】特段の監視や対策を行う必要は無い。
【6.橋梁全体の技術的見解の総括】主桁は活荷重及び凍害により致命的な状態となる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。

構造部分/部材		径間番号	材質	今回点検の評価 損傷種類	損傷状況概要	損傷区分	所見 前回点検との比較	想定される原因	機能区分	機能に着目した区分ごとの評価【部材群】 特定事象の有無 疲労	塩害	アルカリ骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他	技術的な評価結果 活荷重	地震	豪雨・出水	暴風・雪崩等	機能に着目した区分ごとの評価【構成要素】 特定事象の有無 疲労	塩害	アルカリ骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他	技術的な評価結果 活荷重	地震	豪雨・出水	暴風・雪崩等	技術的な評価結果【橋(全体として)】 2024年度 活荷重	地震	豪雨・出水	暴風・雪崩等	活荷重	地震	豪雨・出水	暴風・雪崩等
上部構造	主桁	1	PC	うき・剥離・鉄筋露出	主桁に0.1m2以上の剥離(鉄筋露	d	進行なし	初期欠陥	i	無	-	-	-		-	B	-	-	-	無	—	—	—		—	C	A	—	—	C	A	A	—				
	主構トラス																																					
	ｱｰﾁﾘﾌﾞ・補剛桁								ii	無	-	-	-		-	C	A	-	-																			
	横桁																																					
	床版	1	コンクリート	漏水・遊離石灰	床版に0.1m2以上の遊離石灰(錆	d	若干の進行	雨水	iii	-	-	-	-		-	-	-	-	-																			
	副部材																																					
下部構造		1	RC	うき・剥離・鉄筋露出	A1に1.0m2未満の剥離(鉄筋露出)が見られる。	c	進行なし	かぶり不足	vi		-	-		-	-	A	A	-	-		—	—		無	—	A	A	A	—								
									vii		-	-		無	-	-	A	A	-																			
上下部接続部		1	ゴム製	変色・劣化	支承に局部的な劣化が見られる。	b	進行なし	経年劣化	iv	無			-		-	A	-	-	-	無			—		—	A	A	—	—								
									v	無			-		-	A	A	-	-																			
その他	フェールセーフ										-	-	-		-	-	-	-	-		—	—	—		—	—	—	—	—									
	伸縮装置	1	ゴム製	漏水・滞水	伸縮装置に漏水が見られる。	d	進行なし	経年劣化		無					-	A	-	-	-	無					—	A	—	—	—								
	高欄・防護柵	1	鋼製	ゆるみ・脱落	防護柵にボルトのゆるみが見られ	c	進行なし	車両振動																														
	地覆	1	RC	変形・欠損	地覆に欠損が見られる。	b	新たな損傷あり	車両等の接触																														
	排水装置	1	鋼製	腐食	排水装置に広範囲な表面錆が見	c	進行なし	経年劣化																														
	舗装	1	アスファルト	舗装の異常	舗装に幅5mm未満のひび割れが	b	若干の進行	繰返し荷重																														

全景写真

上部構造【活荷重・C】

下部構造【活荷重・A】

上下部接続部【活荷重・A】

その他(伸縮装置)【活荷重・A】

その他(地覆)【-・-】

その他(排水装置)【-・-】

様式1

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42.79146	施設ID
				経度	142.93511	42.79146,142.93511
桂橋 （ﾌﾘｶﾞﾅ） ｶﾂﾗﾊﾞｼ	伏美線	北海道河西郡芽室町伏美18線50番地18地先				

管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
北海道芽室町	西伏見川	有	一般道	指定無し	水道管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
			上部構造	下部構造	基礎構造
1976	6.3	7.5	411-④PC橋_プレテン床版	11-重力式橋台	0-直接基礎

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.09.13	定期点検者	・松田・十勝測量特定委託業 西田 光

	想定する状況								
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他		
橋（全体として）	C		A		A		（ ）	―	
上部構造	C	写真番号 1	A	写真番号	―	写真番号	（ ）	―	写真番号
下部構造	A	写真番号 2	A	写真番号	A	写真番号	（ ）	―	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 3	A	写真番号	―	写真番号	（ ）	―	写真番号
その他（ﾌｪｰﾙｾｰﾌ）	―	写真番号	―	写真番号	―	写真番号	（ ）	―	写真番号
その他（伸縮装置）	A	写真番号 4	―	写真番号	―	写真番号	（ ）	―	写真番号

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

起点側

終点側

様式2

状況写真（様式1に対応する状態の記録）

〇上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	42.79146,142.93511	定期点検実施年月日	2024.09.13	定期点検者	公田・十勝測量特定委託　西田　光

構成要素	上部構造		
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	C

写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁07
備考					

構成要素	下部構造		
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A

写真番号	2	径間	1	部材番号	下部工01
備考					

構成要素	上下部接続部		
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A

写真番号	3	径間	1	部材番号	支承部225
備考					

構成要素	その他（伸縮装置）		
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A

写真番号	4	径間	1	部材番号	伸縮装置01
備考					

様式3

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

施設ID	42.79146,142.93511	定期点検実施年月日	2024.09.13	定期点検者	田・松田・十勝測量特定委託業 西田　光

該当部位	特定事象の有無（有もしくは無）						健全性の診断の区分の前提	特記事項（第三者被害の可能性に対する応急措置の実施の有無等）
	疲労	塩害	アルカリ骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	―	―	―	―	―		
下部構造	―	―	―	―	無	―		
上下部接続部	無	―	―	―	―	―		
その他（フェールセーフ）	―	―	―	―	―	―		
その他（伸縮装置）	無	―	―	―	―	―		

所見	【1.上部構造】主桁に剥離（PC鋼線の露出）が見られる。現時点でPC鋼線の破断により、主桁の耐荷性能が低下している可能性がある。以上より、損傷が進行し、鉄筋の断面不足に至った場合、主桁の機能低下が懸念されることから、早期に耐荷性能の回復を行うべきである。 【2.下部構造および周辺地盤】下部工に剥離（鉄筋露出）が見られる。現状、何らかの変状が生じる可能性は低い。なお、下部工の剥離（鉄筋露出）については、局所的であり前回点検から進行が認められないことから、何らかの変状が生じる可能性は低いものと判断した。 【3.上下部接続部】ゴム支承に局部的な劣化が見られる。現状、何らかの変状が生じる可能性は低い。 【4.伸縮装置】伸縮装置に漏水が見られる。鋼部材の腐食およびコンクリートの凍害を助長することから、構造安全性の確保のための措置を行う必要がある。 【5.その他】特段の監視や対策を行う必要は無い。 【6.橋梁全体の技術的見解の総括】主桁は活荷重及び凍害により致命的な状態となる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。

別紙1　橋梁評価表

市町村	芽室町	橋梁名	桂橋	橋長	6.3m	緊急輸送路の指定	無	路下条件	西伏見川			径間番号	1/1（起点：A1，終点：A2）
橋梁番号	200	路線名	伏美線	幅員	7.5m	代替路	有	維持管理区分	A	架設年次	1976	橋梁形式	上部構造：411-④ＰＣ橋_プレテン床版、下部構造：11-重力式橋台、基礎構造：0-直接基礎

構造部分/部材		部材番号	材質	今回点検の評価					機能に着目した区分ごとの評価											
				損傷種類	損傷状況概要	損傷区分	所見		構成要素が担う機能に着目した区分		特定事象の有無						技術的な評価結果			
							前回点検との比較	想定される原因			疲労	塩害	アルカリ骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他	活荷重	地震	豪雨・出水	暴風・雪崩等
上部構造	主桁	07	ＰＣ	うき・剥離・鉄筋露出	主桁に0.1m2以上の剥離（鉄筋露出）が見られる。	d	進行なし	初期欠陥	i	通行車などによる路面に作用する荷重を直接的に支持する機能（床版、縦桁等）	無	－	－	－		－	B	－	－	－
	主構トラス																			
	ｱｰﾁﾘﾌﾞ・補剛桁								ii	上部構造へ作用する鉛直及び水平方向の荷重を支持し、上下部接続部まで伝達する機能（主桁、主構、ｱｰﾁﾘﾌﾞ・補剛桁等）	無	－	－	－		－	C	A	－	－
	横桁																			
	床版	02	コンクリート	漏水・遊離石灰	床版に0.1m2以上の遊離石灰（錆汁）が見られる。	d	若干の進行	雨水	iii	上部構造へ作用する荷重を主桁等が上下部接続部に伝達するとき、荷重の支持、伝達を円滑にするための機能（横桁、対傾構、横構等）	－	－	－	－		－	－	－	－	－
	副部材																			
下部構造		01	ＲＣ	うき・剥離・鉄筋露出	A1に1.0m2未満の剥離（鉄筋露出）が見られる。	c	進行なし	かぶり不足	vi	上下部接続部からの荷重を直接支持し、基礎・周辺地盤に伝達するとともに、上下部接続部の位置を保持する機能（橋脚、橋台の躯体、橋座部、梁部等）		－	－		－	－	A	A	－	－
									vii	橋脚・橋台躯体からの荷重を支持し、橋の安定に関わる周辺地盤等に伝達するとともに、地盤面での橋の位置を保持する機能（橋脚、橋台の基礎、基礎周辺地盤等）		－	－		無	－	－	A	A	－
上下部接続部		225	ゴム製	変色・劣化	支承に局部的な劣化が見られる。	b	進行なし	経年劣化	iv	上部構造からの荷重を支持し、下部構造へ伝達する機能（支承部・剛結部等）	無			－		－	A	－	－	－
									v	上部構造と下部構造が機能を発揮する前提として、必要な幾何学的境界条件を付与する機能（支承部・剛結部等）	無			－		－	A	A	－	－
その他	ﾌｪｰﾙｾｰﾌ								ﾌｪｰﾙｾｰﾌ			－	－	－		－	－	－	－	－
	伸縮装置	01	ゴム製	漏水・滞水	伸縮装置に漏水が見られる。	d	進行なし	経年劣化	伸縮装置		無					－	A	－	－	－
	高欄・防護柵	01	鋼製	ゆるみ・脱落	防護柵にﾎﾞﾙﾄのゆるみが見られる。	c	進行なし	車両振動	高欄・防護柵											
	地覆	02	ＲＣ	変形・欠損	地覆に欠損が見られる。	b	新たな損傷あり	車両等の接触	地覆											
	排水装置	01	鋼製	腐食	排水装置に広範囲な表面錆が見られる。	c	進行なし	経年劣化	排水装置											
	舗装	01	アスファルト	舗装の異常	舗装に幅5mm未満のひび割れが見られる。	b	若干の進行	繰返し荷重	舗装											